

りバプールの通信

社会福祉法人 大石福祉会
介護老人福祉施設 リバプール
077-536-3111
<http://www.liverpool.or.jp/>

Vol. 61 まだまだ暑い日が続いています。熱中症などに注意してください。



今年のリバプール夏祭りもたくさんの方にご参加いただきました。

リバプール夏祭りを終えて・・・

今年の夏祭りも、たくさんのご家族様・ボランティアの皆様に参加いただきました。毎年参加いただく人数も増え、今年は約 250 名様のご参加となりました。限られたスペースでの祭りにご迷惑をおかけしたと存じます。

また、ボランティアの皆様には屋台など、一番暑い屋外でのお手伝いをお願いし、大変感謝しております。昨年にも増してボランティアの皆様のおかげでお祭りが成功したのだと感じています。お忙しい中、有難うございました。

今年もけが人・病人もなく無事に夏祭りが終えられたのは皆様のおかげだと感謝しております。来年も今年以上に『リバプール夏祭り』を盛り上げていければと思います。

リバプール夏祭り実行委員会

お手伝い頂いた
ボランティアの皆様



8月のできごと

8/28 リバプール夏祭り

今年でリバプール夏祭りも5回目を迎えました。今回の夏祭りは、利用者様・ご家族様・ボランティアの方々、それに職員を合わせて約250名の方々が来られました。

今年は最大の参加人数になり、例年にも増して賑やかなお祭りになりました。



今年の屋台は「たこ焼き」「焼きそば」「つくね&ポテト」「ジュース」「わらび餅」「大判焼」「シャーベット」の7品。

どれも美味しそうで皆様、普段以上に食が進んだようです。

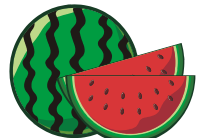
昨年に引き続きボランティアで大石在住の波多野様に三味線演奏をお願いしました。

お子さんも一緒に演奏されていたのですが、迫力のある三味線に皆様、盛り上がりおられました。



三味線演奏の後はお利用者様による『カラオケ大会』そして、『スイカ割り大会』へと進んで行きました。

スイカ割り大会は屋外のピロティーで行なったため暑かったですが、子どもさんも利用者様と一緒に参加してくれたので、大盛り上がりでした。



夏祭りのフィナーレはやはり『江州音頭』を踊りました。今年は例年に比べ暑かったこともあり、江州音頭を踊って下さった方は少なかったですが、それでも1カ月前より館内放送で江州音頭を流し、皆様には夏の雰囲気を感じていただきました。

8/3 おうみ少年少女合唱団

8/3 おうみ少年少女合唱団のみなさんが歌のプレゼントにられました。皆様の好きな「ふるさと」や「琵琶湖周航の歌」などを歌って下さいました。

本格的な歌声に皆様、喜んでおられました。



また合唱団の皆さんは、社会勉強の一環として施設の見学もされました。

特別養護老人ホームの役割や概要などの説明を聞き、入居者様が生活されている居室・リビングなどを見学されました。



8/24 ちびっこ空手



8/24 に剛柔流空手道 正剛館大津支部草津道場の皆さんが空手を披露して下さいました。

攻撃や守備の空手の『型』などを披露して下さい、入居者様も一緒に手や足を動かされました。

「空手なんか見るのはじめてやけど、いいリハビリになるな」など楽しんで体を動かしておられました。



大津関津城跡

歴史探訪 54

8月の京都新聞にリパブールに近い関津で関津城の遺跡が発見されたというニュースが記載されていました。大津市関津3丁目の関津城（せきのつじょう）遺跡で戦国時代後期（16世紀後半）の土蔵跡が発見された、と滋賀県文化財保護協会が4日、発表した。土壁の下部や壁を支える地覆石（じふくいし）、柱跡が残っており、戦国期の城郭から構造がわかる土蔵が発掘されたのは全国初という。協会は、城郭建築技術の変遷を考える貴重な資料としている。

関津城は近江国の守護大名・佐々木六角氏の家臣、宇野氏の居城とされる。土蔵跡は遺跡南側で土塀を伴って見つかった。土蔵の規模は縦4メートル、横3・6メートルで、幅約30センチ、高さ約20センチの土壁の下部が残り、その下には地覆石が並んで敷かれていた。内部には炭化した米や麦、火災などで赤く変色した土や炭が残っていた。

協会によると、地覆石を並べて土壁を支える建築技法は、江戸時代以降の城郭建築でみられる手法だが、戦国期の城郭で確認されたのは初めて。「火災後に土をかぶせて整地したとみられ、基礎部分が極めて良好に残存した」と推測している。周辺からは、土蔵に収められていたとみられる調度品の金具や中国、朝鮮の陶磁器など数百点も出土した。村田修三大阪大名名誉教授（日本中世史）は「地覆石を敷いて地盤をたたき上げる技法はその後の城郭建築に広く用いられていく。保存状態が良く、ほかの発掘例の基準になる」と評価し、「多様な遺物も出土し、城郭が戦闘だけではなく、生活、儀礼の場など多様に使われていたことも示す」と話す。

国道422号のバイパス工事に伴い、昨年8月から2200平方メートルを調査していた。

（本文・写真とも京都新聞より抜粋）



8/3 ほしのまち スイカ割り



ほしのまちでは 8/3 にスイカ割りを行ないました。
『リバプール夏祭り』でもスイカ割りがあるとのことで、この日は予行練習となりました。皆様、上手く割っておられました。が・・・さて、本番は!?

8/19 ほしのまち2丁目 かき氷



今年の夏は例年以上に暑かったのかき氷を皆で作って食べました。
入居者様には白玉団子を作ってもらい、フルーツと抹茶シロップ、あんこをのせて・・・宇治金時の出来上がり。皆様、ペロッと食べられました。

8/22 臨床美術



半田先生による臨床美術会を 8/22 にほしのまちで行ないました。今回は『タマネギ』を題材に行ないました。前回参加されていた利用者様もおられ、皆様タマネギを色々な角度から見たり、触れたりしながら描かれていました。今回も個性的で迫力のあるタマネギが描かれていました。

8/25 ほしのまち1丁目 うちわ作り



先月に引き続きほしのまち1丁目では夏祭りに向けてうちわを作りました。
アサガオや風鈴など涼しげなうちわが出来上がりました。



昨年に引き続きリバプール農園では『そば』の種をまきました。

この猛暑の中、数日で芽が出てきました。今年の冬には美味しいそばが出来ていると思います。



長田 真由子 (ゆめのまち2丁目 介護職員) 星座：おひつじ座 血液型：A B型
趣味：献血



ショートステイでの仕事は初めてで不安でしたが、利用者様が顔を覚えて下さったり「ありがとう」と言葉をかけて下さることに喜びを感じています。
一緒に過ごせる時間は限られていますが、その間だけでも利用者様の生活や心の支えになり、「またリバプールに来たい」と思って頂けるよう努力して行きたいと思っています。